

第377回: 苦いチョコ・ケーキ

きょうは絶句の話題。といっても、春眠暁ヲ覚エズ、処処啼鳥ヲ聞ク、の五言絶句ではなくて、ゲツ……！とくる無言絶句のことだ。以下は4月15日の読売新聞7面の見出しだ。

習氏10秒沈黙

シリア攻撃、デザート途中に説明

「…もう一度言って」

これ、米フロリダ州で4月6～7日に行われた米中首脳会談の一コマである。

シリア北西部で神経ガス・サリンと疑われる毒ガス攻撃が起き、少なくとも子供11人を含む58人が死亡したのが今月4日。この報に接した米トランプ大統領は、「文明社会では看過できぬ暴挙」と非難声明を出し、対応策として軍事的選択肢を提出するよう“狂犬”もとい、“戦う修道士”マティス国防長官に指示した。

翌5日の国家安全保障会議(NSC)で、国防省が中心になってまとめた選択肢のブリーフィングを受けたトランプ氏は6日午後、米中首脳会談に出席するためフロリダへ向かう大統領専用機エアフォース・ワンの中で、再度NSCを開き、首都ワシントンに残ったメンバーは電話で参加した。

報道によると、大統領はフロリダ到着後に、米中首脳会談の準備と並行して、マティス長官たちと秘密裏に打ち合わせを行い、最も人的被害の少ない「シャイラト空軍基地空爆」で行こうと腹を固めたらしい。

最終的に、午後4時から改めて開かれたNSC会合で、トランプ氏はミサイル発射を命令した。むろん発射時刻まで指定することは物理的に不可能なので、「可及的速やかに発射せよ」と命じたのだろう。

トランプ氏の別荘「マール・ア・ラーゴ」で米中首脳会談が始まったのが午後6時30分ころ。

「会談の成果は今のところ全くないけど、仲良くなれたよ」、午後7時過ぎ、トランプ大統領は首脳会談から夕食会に移るタイミングで報道陣を前に上機嫌でまくし立てた。

その裏で午後7時10分、アメリカはロシア軍に対し、「これからシリアをミサイル攻撃するよ」と事前通告し、地中海のイージス艦から巡行ミサイル「トマホーク」が発射されたのが、7時40分頃であった。

従ってミサイルが敵地に着弾したのは、それから約1時間後の8時40分頃ではないかと推測される。

さて大統領主催の晩餐会、当日のメニューはシーザーサラダ、舌平目のムニエル、サーロイン・ステーキ、デザートと続く豪華版であった。

シリア空爆は米中の要人が食事を楽しんでいる最中に実行された…ミサイル発射も、そして着弾も。

さて国際儀礼上、トランプ大統領は、習近平主席にシリア攻撃の事実を伝える必要があるが、タイミングが重要だ。攻撃の成功を確認する必要もあるし。

時間的には、ステーキを食っているタイミング辺りがベストだったようだが、大国の首脳が戦争と平和を語る時、ナイフは持っていない方が安全だ。ナイフを握りしめた両首脳がブルブル激高すると、ちょっとヤバい

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

かも…そんなことをトランプ氏が考えたかどうか知らないが、たしかに血の滴るステーキを食っている最中に、そんな話をするのは野暮だ。とはいえ、その前のメニューは、二枚舌平目のムニエルだし。

そんなわけで、トランプ氏は食事が終わり、「見たこともないほど、きれいなチョコレートケーキ(トランプ氏談)」を楽しんでいるとき、習近平氏に「ちょっと伝えたいことがある」と切り出した。

12日になって、トランプ大統領がFOXテレビのインタビューで語ったところによると、シリア空軍基地に、59発のミサイルが発射されたことを聞いた習近平主席は10秒間沈黙し、通訳を通じて「もう一度、説明してほしい」と聞き返した。トランプ氏によると、ケーキを食べていた習氏は説明を聞いた後、「子供や赤ん坊にガスを使う残虐な者に対してなので(武力行使は)問題ない」と語り、理解を示したという。

これが首脳会談であれば、習近平主席は左右に座る副首相や政治局委員の意見を求めるところだが、晩餐会と首脳会談とは席次が全く異なる。

習主席から見て、右はトランプ大統領夫妻が着席、楊潔篪(外務担当)国務委員は更にその隣だ。習主席の左隣は彭麗媛夫人、その左は大統領の娘夫妻のクシュナー顧問とイヴァンカ嬢、頼みの人民解放軍の房峰輝総参謀長はその隣。

しかも欧米の晩餐会は、首脳二人が専ら喋り、同席者は静かに聞く中国流ではなく、出席者が和気藹藹と自由に会話を楽しむ方式だ。だから通訳も大勢配置されている。

習近平氏にとって一番近くにいる援軍は彭麗媛夫人と、後ろに控えている若い女性通訳のみであった。

トランプ氏はプロレス中継にライブで出演したり、テレビ番組のMCを勤めたりするエンターテイナーだ。小意地の悪いところもある。おそらく驚天動地のドッキリニュースを伝えるとき、習氏が美味しそうにケーキを頬張っているのを横目で確認してから、重々しい口調で伝えたのではないだろうか。

奇襲を受けたのはアサド大統領だけではなかったようだ。習近平氏には誠に気の毒であった。どこの国の指導者だって、こんなドッキリニュースを聞かされた日には、10秒間くらい絶句したくなるだろう。

因みにトランプ氏が記者団に、シリアへの軍事攻撃命令を正式発表したのは、習代表団が蒼惶とホテルに引き返した後の午後9時40分のこと。以上各種報道を繋ぎ合わせ、筆者の想像もこきまぜたドキュメントでした。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年4月20日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

